

文化財の保存と活用について  
～旧吉野家住宅および  
青梅市吉川英治記念館の今後の活用策～

# 旧吉野家住宅について

○江戸時代初期の新町村開拓者、吉野織部之助ゆかりの名主家住宅

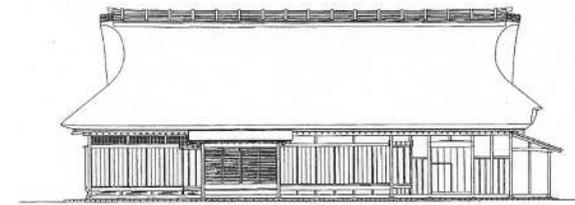
- ・嘉永4(1851)年、現在の主屋を建築
- ・昭和50(1975)年、所有者から青梅市に寄贈
- ・昭和51(1976)年6月、東京都の有形文化財に指定

○関連する文化財

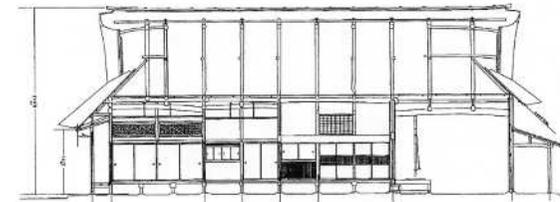
- ・昭和45(1970)年8月、「仁君開村記」など4冊が「青梅新町開村記録」として東京都有形文化財に指定
- ・昭和57(1982)年3月、それ以外の古文書3,866点についても、「旧多摩郡新町村名主吉野家文書」として東京都有形文化財に指定

# 旧吉野家住宅の構造

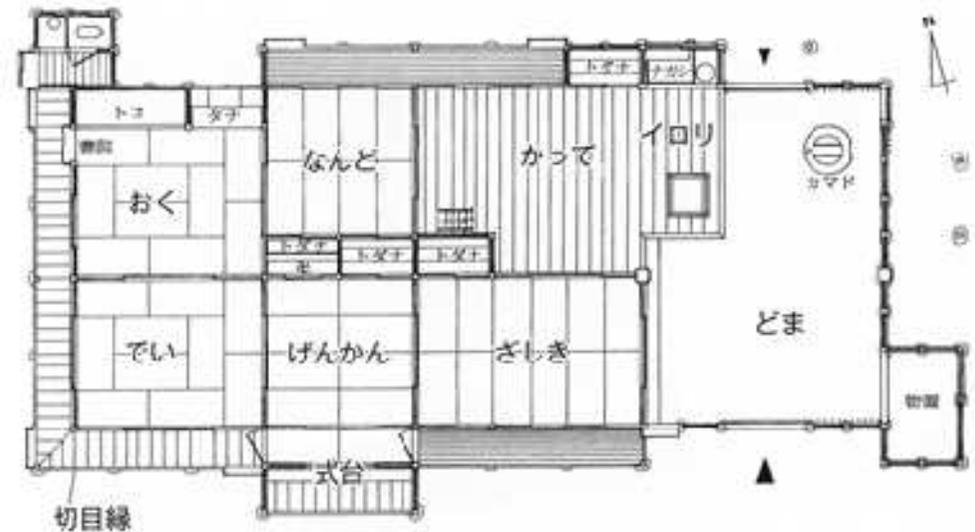
- 入母屋造り、茅葺き、平屋建て、式台構え付き整形六つ間型の平面で、名主階層の民家としての特徴が窺がえる。
- 現在の主屋は、天保10(1839)年に火災により全焼した後に再建されたもの。



正面図



桁行縦断面図



# 旧吉野家住宅の外観



南からの外観



慶長の井戸

# 旧吉野家住宅の内観 1



ざしき



式台

## 旧吉野家住宅の内観 2



でい



おく

# 旧吉野家住宅の内観 3



かつて



土間

# 吉野家住宅の見学者数推移

年度	開館日数	見学者数(団体見学)	1日平均
平成27年度	306日	2,193人(530人)	7.17人
平成28年度	308日	3,153人(854人)	10.24人
平成29年度	306日	2,429人(971人)	7.94人
平成30年度	308日	2,310人(638人)	7.50人
令和元年度	307日	2,972人(896人)	9.68人
5年間平均	307日	2,611.4人(777.8人)	8.51人

# 青梅市および他市の文化財住宅

市名	種別	住宅名	入館料	管理形態
青梅市	国指定重要文化財	旧宮崎家住宅	無料	管理委託
青梅市	都指定有形民俗文化財	旧稲葉家住宅	無料	管理委託
青梅市	都指定有形文化財	旧吉野家住宅	無料	管理委託
青梅市	都指定有形文化財	福島家住宅	無料(期間限定公開)	個人所有
青梅市	都指定有形文化財	馬場家御師住宅	無料(宿坊として利用)	個人所有
羽村市	国指定重要有形民俗文化財	旧下田家住宅	無料	管理委託
福生市	国登録有形文化財	旧ヤマジュウ田村家住宅	無料	管理委託
あきる野市	国登録有形文化財	森田家住宅	無料(料亭として利用)	個人所有
あきる野市	市指定有形文化財	旧市倉家住宅	無料	直接運営
檜原村	国指定重要文化財	小林家住宅	無料	指定管理
立川市	国登録有形文化財	中野家住宅	無料(料亭として利用)	個人所有
立川市	市指定有形文化財	旧小林家住宅	無料	直接運営

# 旧吉野家住宅の活用例

- 毎年度：五月人形のミニ展示（旧宮崎家、旧稲葉家同時開催）
- 毎年度：ひな人形のミニ展示（ // ）
- 平成28年度：新町開村400年記念講演会  
（NPO法人青梅まちづくりネットワーク）
- 平成29年度：青峰学園伝統文化部コンサート（東京都立青峰学園）
- 令和元年度：お箏の演奏会とワークショップ（熙樂）

# 他の文化財住宅の活用例

## ○ 旧宮崎家住宅

- ・令和元年度：手作り甲冑の展示・試着体験の開催

## ○ 旧稲葉家住宅

- ・毎年度：青梅大祭の際に森下町の山車人形の人形場として活用

## ○ 福島家住宅

- ・令和元年度：地元の方々と協力し、ひな人形展を開催
- ・令和2年度：JR東日本「駅からハイキング」事業への参加

## ○ 馬場家御師住宅

- ・民宿やカフェとして活用（通年）

# 旧吉野家住宅の現状や課題

- 平成5(1993)～6(1994)年に実施した屋根葺き替え工事から約25年が過ぎ、現在は、屋根の押し鉾が見えるほど、傷みが進んでおり、屋根の雨漏りなどによる被害が危惧されている。
- 見学者向けの案内板や解説が少なく、駐車場やトイレの整備等がされていない。



# 旧吉野家住宅保存活用計画の必要性

- 平成31年4月1日の文化財保護法の改正

## ① 指定を受けた文化財を個別に保護

⇒ 未指定を含めた地域における文化財をまちづくりの核として総合的に保存・活用

## ② 市町村は、国指定等の個別の文化財について文化財保存活用計画を作成し、

国の認定を申請可能

→旧吉野家住宅の**保存修理だけでなく**、地域の文化資源としての**活用が検討課題**

## ・その他

→補助事業として実施する場合、東京都指定文化財も保存活用計画の策定が必要

# 旧吉野家住宅保存活用計画の策定に向けた動き

## 平成29年度

東京都教育委員会の文化財保護担当による  
現地調査

→屋根の葺き替え修理について協議

## 平成30年度

11月14日 市民と市長の懇談会

## 令和元年度

4月18日 第1回文化財保護審議会

5月31日 市議会定例会にて一般質問

7月11日 第2回文化財保護審議会

11月25日 第3回文化財保護審議会

12月17日 第1回保存活用計画検討委員会

2月 6日 第2回保存活用計画検討委員会

## 令和2年度

7月28日 第1回文化財保護審議会

11月26日 第2回文化財保護審議会

11月30日 市議会定例会にて一般質問

現在 保存活用計画の内容について

東京都との確認作業中

# 旧吉野家住宅保存活用計画の概要(現時点)

- 構成

第1章 計画の概要・・・住宅の概要、現状や課題等について

第2章 保存管理計画・・・保存や管理、修理の方針等について

第3章 環境保全計画・・・住宅の周辺環境の方針等について

第4章 防災計画・・・火災や地震等の災害への対策等について

第5章 活用計画・・・公開や活用等について(後述)

第6章 保護に係る諸手続・・・住宅の保護にかかる諸手続について

# 『第5章 活用計画』について

- 小中学校、地元自治会等と連携した、年間を通じた活用策の検討
- 生活道具を展示するなどの「見るイベント」のほか、昔の暮らし道具体験などの「体験するイベント」の実施
- 常設的な喫茶・軽食を取れる飲食スペースの設置検討
- 味噌蔵、門および塀の復元検討
- 「旧多摩郡新町村名主吉野家文書」(都指定有形文化財)の展示など、旧吉野家住宅に関連する文化財の活用
- 「青梅新町の大井戸」(都指定史跡)などの周辺にある文化財等と連携したイベントの検討

# 他自治体の活用事例 1

- 国指定重要文化財 吉田家住宅(埼玉県小川町)



吉田家住宅正面



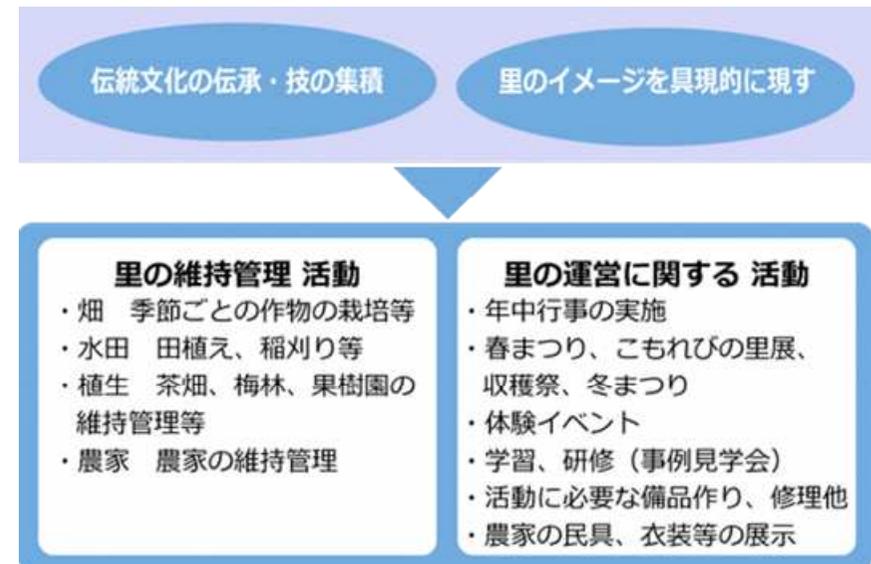
販売・飲食スペース

# 他自治体の活用事例 2

- 立川市指定有形文化財 旧石井家住宅主屋ほか(昭和記念公園内)



旧石井家住宅が所在する「こもれびの里」



「こもれびの里」で開催される多様な取り組み

# 他自治体の活用事例 3

- 三鷹市指定有形文化財 旧箕輪家住宅主屋(大沢の里公園内)



旧箕輪家住宅主屋

## 事業例

講座「農家のお茶シリーズ」

イベント「古道具で昔遊び」

イベント「雨の日を楽しむミニ番傘づくり」

イベント「納涼古民家怪談

古民家には妖怪がいっぱい!？」

講座「古建築を学ぶ」

イベント「書き初め体験」

体験学習「わさび食体験」

# 今後の予定(予算案議決後に確定)

## 令和2年度

3月 保存活用計画の最終版を東京都へ提出

## 令和3年度

4月 都補助事業交付申請書(屋根葺き替え)を提出

6月～9月 設計(仕様・積算・工程表の作成など)

10月～3月 仮設工事等(茅材準備や足場設置など)

## 令和4年度

4月～10月 屋根葺き替え工事

## 令和5年度以降

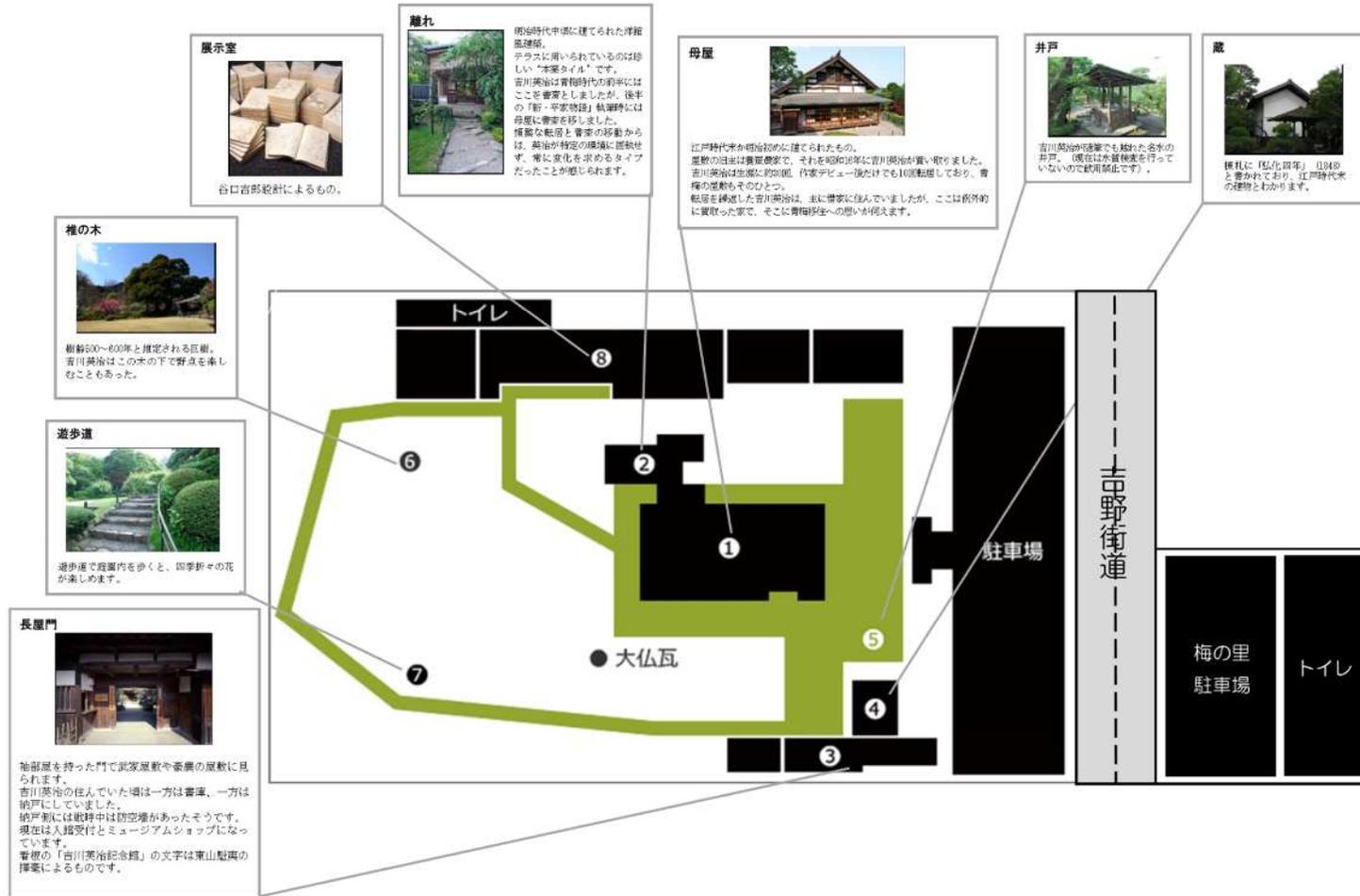
駐車場やトイレ等の整備

# 青梅市吉川英治記念館について

- 開館時間 午前10時～午後5時
- 休館日 月曜日(祝休日の場合は翌平日)、  
年末年始
- 観覧料 大人500円 小中学生200円  
※市内の小中学生は土日祝日無料。  
その他、年間パスポート、共通観覧  
券等あり
- 指定管理者 株式会社フクシ・エンタープライズ



# 青梅市吉川英治記念館の配置図



# 青梅市吉川英治記念館 母屋



母屋



書齋

# 青梅市吉川英治記念館 長屋門・土蔵



長屋門



ミュージアムショップ



土蔵

# 青梅市吉川英治記念館 展示館



展示棟



展示室

# 青梅市吉川英治記念館の入館者数推移



令和2年  
 9月 1,128名  
 10月 1,537名  
 11月 1,123名  
 12月 423名

合計 4,211名

令和3年  
 1月 166名

# 青梅市吉川英治記念館におけるこれまでの取り組み

- ・令和2年9月

オリジナルグッズの作成(10月以降も)、ジュニアガイドの作成

- ・10月

記念講演会の映像記録の上映、公式Twitter、Instagramの開設、イルミネーション・ハロウィンランタン設置

- ・11月

記念館特産物「ゆず」の配布、**地域連携事業(投げ入れ花)の実施**

- ・12月

GOTOトラベル地域共通クーポン取扱い開始、**辛垣城跡御城印の配布(地域連携事業の一環)**

# 青梅市吉川英治記念館 令和3年度シーズンイベント(案)

事業名	開催時期	事業概要
吉川英治文学賞関連展(企画展)	4~6月	3月上旬に選考される文学賞の受賞者と作品を紹介するミニ展示を行う。 (振興会を通じ講談社に作家の講演会をお願いしたい。)
「文豪とアルケミスト」(仮)(企画展)	7~9月	人気ゲーム「文豪とアルケミスト」とタイアップし、エピソードに関連した展示やキャラクターパネルの展示、オリジナルグッズの販売等を行う。
吉川英治ゆかりの地散策ガイドツアー	4~6・9~11月	市内のNPO団体と連携し、本施設を拠点に市内や近隣に残る吉川氏ゆかりの地や文学碑などを巡り吉川氏を紹介するツアーを実施。
郷土博物館との連携事業(企画展)	10~12月	市制施行70周年記念展と併せた企画展示を実施する。 (当時、吉野村で執筆していた『新・平家物語』を中心に)
あなたも名人！俳句・短歌・川柳コンテスト	7~9月	川柳や俳句を多数創作した吉川氏にちなみ、来館者から作品を募集し館内に展示する。(市内の関係団体に講評をいただくことも検討。)
秋のライトアップ&お茶会	11~12月	市内のNPO団体と連携し、紅葉シーズンに庭園をライトアップし、お茶と吉川氏ゆかりのお菓子を供して閉館後の母屋や庭園の鑑賞会を実施。
ファン推薦！究極の作品展	12~2月	ファンクラブを開設後、会員からリクエストを募り、関心の高い分野や資料を集めた展示を実施。
春のスタンプラリー	2~3月	上記の連携展示に合わせたスタンプラリーにより更に回遊性を高める他、オリジナルグッズを共同で制作しイベント参加者の増加を図る。

# 青梅市吉川英治記念館 令和3年度スポットイベント(案)

事業名	開催時期	事業概要
展示の裏側紹介!ギャラリートーク	4・7・10・1月	新たな企画展示の開催に合わせて学芸員や関連するゲストを招き、展示の見どころや作品の解説等を行い、吉川英治氏の魅力や功績を紹介。
私のお薦め本はコレ!ビブリオバトル	5・8・12・3月	吉川英治氏や文学賞受賞者の作品をテーマにお薦めの本やその内容について発表するビブリオバトルを開催。
夏休みの宿題サポート教室	8月	自由研究のアイデア紹介から、テーマの決定、展示室や母屋の見学、まとめの作成という一連の流れで子どもたちの学習をサポートする。
親子おはなし会	4・5・6・9・10・11月	市内で活動するボランティアと連携し、母屋にて日本の昔話等の絵本や紙芝居で読み聞かせを実施。
庭園と楽しむプロの生演奏音楽コンサート	7・10・12・2月	プロ・アマ問わず、様々なジャンルの演奏会と展示の見学をセットとし、母屋の活用と吉川氏に触れる機会とします。
日本家屋でのびのびヨガ	毎月	庭園の風景を楽しみながら、ヨガを行い、母屋の活用と吉川氏に触れる機会を提供。
癒しの母屋で爆笑落語会	6・1月	母屋内に高座をつくり、落語家による落語会と展示の見学をセットとし、母屋の活用と吉川氏に触れる機会を提供。
地域連携事業	通年	柚木・梅郷地区を中心とした地元の団体の方々と協力し、母屋を活用したミニ展示や座談会や発表会、地域の年中行事体験などを実施。
ガイドボランティア養成講座	3月	吉川英治氏や母屋に関する基礎知識を学習し、施設ガイドとして登録いただく養成講座を実施。

# 青梅市吉川英治記念館の今後の展望 1

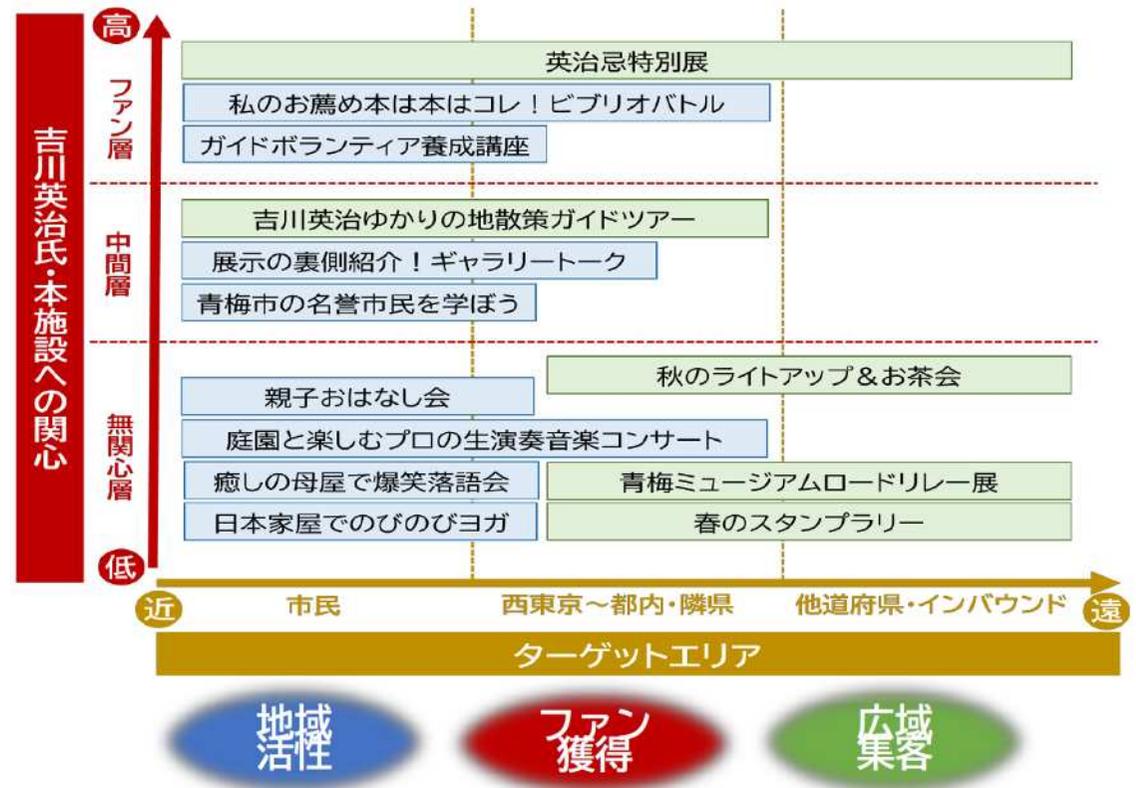
- 無関心層からファン層まで幅広い事業展開

例：母屋でヨガ体験、ガイドボランティア養成講座

- 地域活性化に重点を置いた事業展開

例：吉川英治ゆかりの地散策ガイドツアー

ライトアップ&お茶会



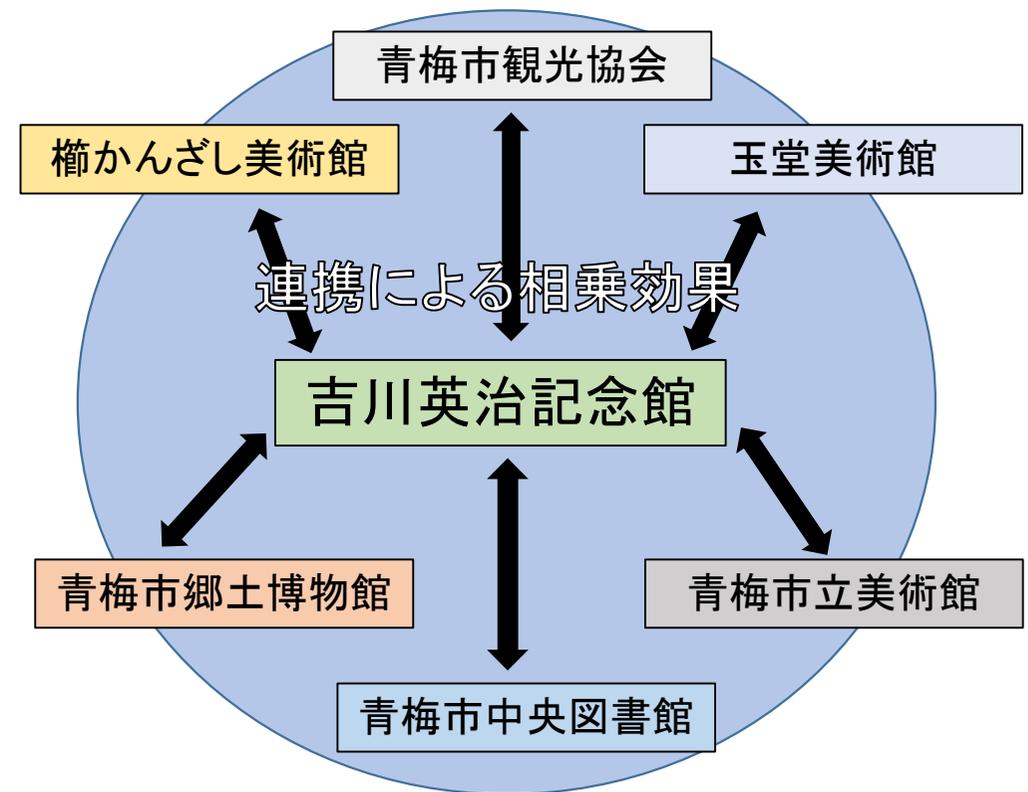
# 青梅市吉川英治記念館の今後の展望 2

- 青梅市吉川英治記念館を拠点とした市内の文化施設・観光施設との連携による相乗効果

例：スタンプラリー

ミュージアムロードリレー展

出張お話し会



# 吉野街道でアートに出会う♪春の美術館めぐり

・日時 令和3年3月11日(木)、12日(金)

・青梅市吉川英治記念館

青梅きもの博物館

玉堂美術館

櫛かんざし美術館

4館をめぐる無料バスを運行

・各館、先着順でプレゼントを進呈

